

画像工学同窓会会報

<http://www.gazo-dosokai.jp/>

千葉大学工学部画像系学科 百周年事業案について

画像工学同窓会長 湯本 好英

グラパックジャパン株式会社 代表取締役社長

千葉大学画像工学同窓会の会員諸兄に於かれましては、お元気にお過ごしのことお慶び申し上げます。

さて、かねてより総会等で話題となっていた千葉大学工学部画像系学科の創立百周年、いよいよ来年に迫ることとなりました。

写真、印刷をはじめとする我が国画像技術の殿堂として、輝かしい業績、確固たる存在の母校の慶事を実行するに際し、同窓会として学科主催の行事に協賛、助力するとともに、是非とも百周年記念事業を執りたいと思います。

すでに二度の幹事会と諸先輩のご意見拝聴会、若手会員との懇談会、2009年に百周年事業を実施した園芸

学部同窓会への訪問調査などを実施し、ご意見聴取しつつ下記のような百周年記念事業・同窓会会長案をまとめました。来年（2015年）2月4日に予定されている総会までに幹事会案としてまとめ、それを総会でご審議を頂き、ご承認頂ければ早々に実行に移す所存です。

会員諸兄に於かれては是非ご一読頂き、総会でのご審議に臨まれるようご案内申し上げます。

なお、来年を百周年とする根拠は、千葉大学工学部の前身である東京高等工芸学校、さらにその前身である東京美術学校に於いて、1915年（大正4年）写真学科が設置されたことに由来します。



これは各位のお手元にある工学同窓会名簿の第Ⅵ部会、第Ⅶ部会それぞれの最初の頁にある通り、第Ⅵ部会（写真系）では大正7年3月、第Ⅶ部会（印刷系）では大正14年3月に最初の卒業生を送り出している事実からも明らかです。（当時は3年制でした。）

◎ 千葉大学工学部画像系学科 百周年記念事業画像工学同窓会幹事会案 ◎

1. 100周年事業の目的

- ・ 国立大学唯一の画像を専門に扱う学科として、我が国の政治、文化、経済に深く関わってきた過去百年の事跡と現状を紹介し、社会の認識増進と共に存在意義を再確認する。
- ・ 近來のアナログからデジタルへの移行期、画像技術はどのような技術革新で応えたかを解説し、情報産業の核

心部として、益々深まる画像に特化した専門知識の必要性を社会に知らしめる。

- ・ 画像系学科と卒業生の社会への貢献、画像技術の重要性と奥深さ、おもしろさを社会にアピールすることで、入試応募者増を図ると共に、画像系学科の存続をより確固としたものにする。

2. 旧写真工学科同窓会と旧印刷工学科同窓会がそれぞれ持つ特別基金の扱い

- ・旧印刷工学科の同窓会（芝葉印刷学協会）においては特別基金3,666,338円が存在します。
- ・旧写真工学科同窓会（千葉大学工芸写真会）においては特別基金2,016,778円が存在します。
- ・100周年事業を進める際にはこれらを全額取り崩すべきとのご意見は、複数の先輩から頂いておりますが、2015年2月4日予定の総会でのご審議と承認を経て同窓会予算に組み込みたく提案致します。

3. 事業の概要

3-1. 記念誌発刊（主催は同窓会。学科の協賛）

- ・創立以来の事跡をたどることにより、我が国における画像工学、及び関連産業で果たした役割と業績を明確にし、広く社会にその存在と重要性を知らしめるため、百周年記念誌を発行する。
- ・文部科学省、千葉大学長、工学部長などからの祝辞。学科長、同窓会長などからの謝意。
- ・他に、写真・印刷の政府機関をはじめ、工芸大・育英高専・工芸高校などを含む大学等や、業界リーダーからの祝辞も望ましく、OB留学生のメッセージなども有り得るでしょう。
- ・画像系学科のアーカイブ（原稿、写真などを同窓会員から広く収集します）
- ・学科の現状と将来（この部分を基に、受験生獲得用冊子の編集も視野に入れては）

募金者（募金社）一覧。

A4判、経時耐久性を考え、糸縫り上製本。経年変化に耐える強固なブックケースを用意する。

発行部数は会員数を根拠に3千部程度とし、存命の会員全てに無償配布する。

3-2. 記念画像資料集発刊（主催は同窓会。学科の協賛）

画像資料集は是非必要と考えます。画像工学の主旨から言って、本編の文字情報だけでは不十分な情報を画像で補うもので、最高技術を網羅したものとすべきと思います。

A4判、散逸対策したリングバインダー形式。ハードカバー。経時変化への対策。

資料はページではなく、用紙一枚を単位として掲載。一枚当たり0.5ミリ以下に制限する。

出展希望の会員から用紙一枚当たり出展料3万円で募集する。大学関係は考慮。

必要部数の制作に要する費用は出展者の負担とする。（印刷費などは安価な便宜を図る）

先着100枚を募集の目処とするが、応募多数の場合は受け入れる方向で検討する。

原則として紙面のほとんどが広告宣伝の内容は不可とする。公序良俗違反も同様。

発行部数は会員数を根拠に3千部程度とし、存命の会員全てに無償配布する。

会員のご意見次第で発行部数を増やし、市販も視野に入れてはどうかとの意見あり。

大学図書館をはじめ、必要な学校、図書館、図書室、研究者、協賛会社には無償配布する。

残余部数の取り扱いは、幹事会で決定する。

3-3. 記念式典（主催は学科。同窓会が後援）と祝賀パーティー（主催は同窓会。学科の協賛）

都内のホテル等で式典と祝賀パーティーを行う。

- ・式典は主催者挨拶、来賓の祝辞など。詳細は別途設置する記念事業会（後述）がまとめる。

- ・祝賀パーティーは、主催者挨拶、来賓祝辞、会食、事跡紹介、主催者謝意など。

詳細は別途設置する記念事業会がまとめる。原則として会費制とする。

約100名程度の出席を見込む。予算は会場費、飲食費その他で一人当たり2万円までとする。

※式典は東京高等工芸学校ゆかりの、田町・東京サテライトオフィス（千葉大リエゾン室）で開催する案がある。

4. 産学技術交流会（主催は学科。同窓会が後援）

隔年で実施してきた学科主催の産学技術交流会を、百周年事業と並行開催する。（学科の意向による）

5. 日程

2014年12月8日画像工学同窓会幹事会による百周年事業案を、学科教授会に提案。

2015年1月初頭画像工学同窓会報で会員に事業案を告知

2015年2月4日画像工学同窓会・総会で、同窓会としての実行を承認。

2015年3月末千葉大学工学部画像系学科創立百周年記念事業会（後述）立ち上げ

2015年4月記念事業会による実施時期の検討開始。

募金の進捗や記念誌編纂の日程祝賀会の会場なども。

※以後の日程は記念事業会に依ることとします。

なお、訪問し情報収集した園芸学部の2009年・百周年事業では数年を要したとのこと。

6. 千葉大学工学部画像系学科創立百周年記念事業会の設置

- ・上記事業を推進するため、同窓会とは別途に「千葉大学工学部画像系学科創立百周年記念事業会」（便宜的に記念事業会と称します）を設置する。

- ・記念事業会の人事は、同窓会幹事会が起案し、画像系2学科の了承を経て決定します。

※記念事業会による進行は、園芸学部百周年の事例に学びました。

7. 画像系2学科の負担軽減

- ・大学組織変更等による学科での業務負担増の現状に鑑み、百周年事業の進捗に関わる実務は、極力記念事業会・画像工学会同窓会が受け持つこととする。(学科からの要請による)
- ・ただし学科の意向を外部発信する際の書面への捺印、大学の意向が必要な外部機関との調整、記念事業会の人事承認、事業を具体化する際の承認等には、可能な限り迅速に対応する。

8. 募金方法案と予算の概算案

○先般訪問しご指導頂いた園芸学部百周年事業の経緯に学び、記念事業募金は次の2種に分けて行う。一口1万円とし、なるべく3口以上のご協力をお願いする。

- 免税措置を必要としない方
記念事業会発行の郵便振替用紙(手数料加入者負担)を利用。(後日送付予定)
- 免税措置を希望される方
確定申告で免税扱いが可能。後日送付の奨学寄付金申込書を使用する。

なお免税手続きは千葉大学本部を経由することとなる。(大学本部に手数料を支払う)

- 収入の概算予算(詳細の詰めは記念事業会に委ねる)
総額約2200万円を最低ラインと考えております。
目標額は3000万円としたいと思います。
内訳は、旧写真工学科同窓会の特別基金2,016,778円
旧印刷工学科同窓会の特別繰越金3,666,338円
記念パーティーの参加会費1.5万円×100名150万円
付属作品集・掲載料3万円×100口300万円(パーティー参加費を含まず)
個人からの募金平均2万円×100人200万円(パーティー参加費を含まず)
関連企業からの協賛金5万円×400口2,000万円(パーティー参加費を含まず)
※特別基金を概算560万円とすると約3,100万円の収入が期待できる。
※他に記念誌等の用紙・インキ・印刷・製本などの協力が期待できる。

- 支出の概算予算(詳細の詰めは記念事業会に委ねる)
祝賀パーティー2万円×100名200万円
記念誌本編A4判150頁・3千部として500万円
記念画像資料集300万円
記念誌収納用・硬質ブックケース200万円
取材編集費250万円
準備委員会経費250万円
同窓会・100周年基金600万円注1
予備費700万円
合計3,000万円
※注1・・・全額取り崩す予定の特別基金に替わるもの。
以後の同窓会原資

9. 園芸学部百周年事業のあらまし(ご参考資料)

湯本は、10月27日、松戸園芸学部の戸定会ホール(百周年記念ホール)を訪問し、2009年に行われた園芸学部百周年記念行事の情報収集を行いました。ちなみに戸定会とは園芸学部同窓会の名称です。五右旗頭先輩、広瀬先生、平賀氏にもご同行願ひ、戸定会事務局長・佐藤氏と面談し大変有意義な情報・資料を頂きました。以下にあらましを記します。ご参考になれば幸いです。

■■ 実施した事業内容 ■■

- 松戸・園芸学部敷地内に百周年ホールを建設(設計・建設費約1億円)
設計・建設費は全て百周年基金で支払った。その後大学へ寄付し、運営は千葉大の予算で実施。
現在、この建物にご勤務の佐藤事務局長は戸定会に雇用されている。
- 記念展示会「江戸時代の園芸文化史」を松戸で開催
なんと天皇皇后両陛下がこの展示会に行幸啓されました。
NHK関連の制作会社に委託したため1,700万円掛かってしまった。
- 百周年記念誌の発行
500ページを越える大変立派なものです。
- 百周年記念式典・祝賀会
式典は松戸市民会館で。祝賀会は園芸学部体育館。徒歩移動。600名。
経費は圧縮したとのこと。百年の歴史を編修したDVDを制作。式典で披露。
- 記念展示会。上記の天覧展示とは別に、園芸学部の現状を紹介

■■ 予算と収集法 ■■

- 百周年を名目とした寄付総額1億8千万円
- 戸定会からの寄付4,500万円(上記との合計2.25億円が総額)
- 寄付方法を2種類用意。一つめは税控除なしの実行委員会口座への入金(少額)
他に税制控除を受けられる大学本部宛の奨学寄付金(大学に2%。主に企業から。用途を園芸学部百周年事業に限定)
- 百周年事業の趣意書と振り込み方法の説明を郵送。
学長、学部長、同窓会長の名義
- 6年間にわたり、毎年、集金状況(途中経過)を報告し、追加の寄付を依頼
- 全国に渡る同窓会の地域支部が募金活動を進めた。

■■ 発案と経緯 ■■

- 百周年記念事業は2003年に退官された飯本教授の発案。
飯本先生は園芸学部出身であります。
直ちに同窓会が活動を開始し、6年かけて準備を進めた。

小関健一先生・中村佐紀子先生ご退職



2014年3月をもちまして、多くの学生に慕われた画像科学科教授の小関健一先生および画像科学科助教の中村佐紀子先生が定年退職されました。

『フォトポリマーとともに』と題する小関先生の最終講義は、2014年3月13日に千葉大学ベンチャービジネスラボラトリーにて行われました。当日は、悪天候にも関わらず、60余名ものOB、OG、学外関係者、また学内スタッフの聴講で賑わいました。小関先生は、1975年に千葉大学工学部助手として着任されて以来、実に39年もの長きに亘ってフォトポリマーを中心とする画像材料の教育・研究活動にご尽力されました。学協会においても、理事や委員等を歴任され、また、色材協会優秀論文会長特別賞、日本印刷学会論文賞、色材協会賞論文賞、日本印刷学会論文賞、日本印刷学会功績賞等の受賞をされています。なお、小関先生はご定年後、千葉大学のグランドフェローとして、普遍教育の画像工学入門のご講義や、画像科学科の学生実験にご協力頂いています。

中村佐紀子先生は、1973年に千葉大学大学院工学研究科を修了された後、教務職員として千葉大学工学部に着任され、1998年より助教(当時は助手)として、長きに亘り画像科学科で教育・研究にご尽力下さいました。画像固定化材料及び電子ペーパーの研究をご専門とし、学生実験と演習を通して画像工学の魅力をついに十二分に学生

に伝えて下さいました。その大変温なお人柄を反映し、多くの学生に慕われたのはもちろんのこと、女子学生の頼れる相談役としての役割も果たされておりました。

小関健一先生及び中村佐紀子先生の今後の益々のご健勝ならびにご活躍を祈念致します。

(画像科学科 教授 星野 勝義 記)



2014年度 画像工学同窓会・見学会

株式会社ムラカミ

<http://www.murakami.co.jp>

2014年9月25日



■ 中村 幹

(平成2年卒)

2014年の当会の工場見学会が9月25日(木)に開催されました。朝8時に東京の錦糸町・錦糸公園に集合し、20名弱の同窓生が小型観光バス1台に乗り込んで、千葉市・土気の株式会社ムラカミに向かいました。あまりにも道が空きすぎて、10時の予定が1時間も早く着いてしまい、近くのコンビニで時間調整をした次第。

株式会社ムラカミでは、村上博高社長

(1977年卒、角田研究室)が出迎えてくれました。同社は、スクリーン印刷に関し、スクリーンマスクの製造販売(製版事業)、スクリーン資機材の仕入・販売(メッシュやスキージなど)、(スクリーンマスク用)感光材の製造・販売を行っています。見学では、グラフィック系のスクリーン製版と、太陽電池やタッチパネルの電極印刷などに使われる、プリントドエレクトロニクスに関する製版工程を見ることができました。

バス内で弁当昼食後、近くのホキ美

術館へ。同館は、知る人ぞ知る写実絵画専門美術館です。静かなゆっくりとした時間を過ごし、バスで錦糸町に戻りました。

帰路も順調で、到着は16時。18時開始予定の懇親会を17時開始にしましたが、時間を持って余した人たちは0(ゼロ)次会へ。懇親会は東京スカイツリーが見えるパーティ会場の個室で情報交換となりました。その後、2次会、3次会へは毎年のごと。0次会まで含めると、4つの呑み会に参加した人もいました。 ■

2014年度 関西支部 総会・懇親会

今年も京都でざっくばらんに

2014年7月12日

■ 中村 幹

(平成2年卒)

千葉大学画像工学同窓会 関西支部の平成26年度総会・懇親会が、7月12日、京都・四条のレストラン「キエフ」で開かれました。大阪を中心に関西方面で仕事をしていたり住んでいる同窓生が、年1回集まり、近況を報告し合っています。大学からも毎年先生が出席し、学科(画像科学科)の話題を中心に近況を報告しています。

関西方面におられる同窓生の方でまだ参加したことのない方は、一度、参加されてはいかがでしょうか。 ■



昭和42年卒印刷工学科・同窓会

“涵徳亭”にて

2013年12月10日

■ 高橋 隆

(昭和42年卒)

2013年12月10日小石川後楽園“涵徳亭”にて、昭和42年卒印刷工学科の同窓会を催行しました。毎年この“涵徳亭”にて同窓会を継続する予定です。



昭和43年卒写真工学科・同窓会報告／大学訪問記

写真工学科43年卒同窓会報告並びに大学訪問記

2013年12月10日

■ 廣瀬 祐三

(昭和43年卒)

写真工学科を昭和43年に卒業した私たちは、ほぼ毎年クラス会を開いています。参加しやすいようにここ数年は開催日や場所を固定化し、暮れの12月に同級生林君の店、中華料理店「文華楼」(新宿)で行っています。毎年クラスの約半数20名前後の級友が集まり、各々の近況報告を酒の肴に旧交を温めています。

昨年(2013年)12月の時(写真1)は、遠くは米国ミネソタ州在住の石田君や長崎の池田君らの参加や、定年後農業を始めた内田(洋)君提供の新米の美味しいご飯もありました。宴の中で村井君がおもむろに一枚の写真を取り出したのは、3年次に撮った貴重な記念写真でした(写真2)。45年前の自分たちを見て、「あの頃はみんなまじめそうで、若かったなあー」とか、「あの頃はこんなに髪の毛が黒々としていたのに、今では…」と頭に手をやる人もいたりして、学生時代の昔懐かしい思い出話に

一段と花が咲きました。しかし学生時代の仲間から6人の級友が既に故人となっているのは誠に残念なことです。

今年は、画像科学科の小林裕幸先生やフロンティア医工学センターの羽石秀昭先生、そして大学本部渉外企画課の若月氏のお世話で大学を訪問・見学する機会を得ることができました。参加者の中には卒業以来初めて大学に来た人もいました。そんな私たち10人を歓迎してくれるかのようにキャンパス内の桜は満開でした。

初めにガラス張りの明るく立派な図書館で、大学全体で取り組んでいる教育プログラム、スキップワイズ・プログラム他の説明をうかがった後、若月氏の案内でキャンパス内の建物やサイエンスプロムナードを見学しました。学生当時のキャンパスには低い建物がまばらに建っていたのが、約半世紀後の今では所狭ましく高い建物が立ち並んだ、その変わりように驚嘆の声をあげる人もいました。

続いて羽石研究室を訪問し、MRI

やX線CT等の高額な装置を見せていただくと共に医用画像に関する研究の興味深いお話を聞かせていただき、有意義な時を過ごすことができました。

押せ押せのスケジュールの中、次の旧写真工学科(現在の画像科学科)では、主に旧写真系研究室を見学させていただき、昔の写真工学科の雰囲気や多少なりとも感じる事ができました。各研究室で研究テーマのお話を伺い、半世紀の時が流れた現在の研究内容の様変わりに感心すると共に、私たちが学んだいわゆる“写真”に関係した研究を行っている研究室が少なくなったことに一抹の寂しさを感じた人もいたようです。見学後は学生時代に良く通った南門前の北京亭で小宴会を開き、盛り上がりました。

急ぎ足の大学訪問・見学でしたが、思い出に残る半日でした。

年度初めのお忙しい中、私たちの見学に際し種々ご便宜を図って下さった方々に、この場をお借りし御礼申し上げます。



▲ 写真1



▲ 写真2

昭和31年卒工業化学科印刷・同窓会

クラス会報告

2014年12月6日



■ 木下 堯博

(昭和31年卒)

2014年12月6日、千葉大学工学部工業化学科印刷専攻(1956年3月卒業)のクラス会を東京・銀座の木曾路で開きました。参加者12人(卒業22人、現存19人活動中)。

2013年11月~2014年10月の間に、下記の皆様よりご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 井下 広 (S15) | 土方 英彦 (S17) | 梶田 興治 (S18) | 吉村 節子 (S19) | 蛭海 進 (S22) |
| 永谷 宗次 (S22) | 梅原 幸彦 (S23) | 日高 芳典 (S24) | 織間 勇 (S25) | 川又 健一 (S25) |
| 飯田 均 (S25) | 原 誠 (S26) | 清水 丈夫 (S26) | 野村 蔚 (S26) | 廣瀬 昌三 (S26) |
| 荒川 光男 (S28) | 竹原 悟 (S29) | 金子 実 (S29) | 山司 康雄 (S29) | 山本 之彦 (S29) |
| 小松 康世 (S29) | 松村 喜好 (S29) | 北村 維敏 (S29) | 国分 安信 (S30) | 松本 和雄 (S30) |
| 山本 芳孝 (S30) | 武田市太郎 (S30) | 鈴木 洋 (S30) | 横山 弘 (S31) | 山本 芳正 (S31) |
| 勝屋 丈夫 (S31) | 木下 堯博 (S31) | 磯 芳也 (S31) | 設楽 清 (S32) | 久野 治 (S32) |
| 鈴木 章方 (S32) | 蛭原富司也 (S32) | 影山 雅英 (S33) | 小川 圭一 (S33) | 百瀬 巖 (S33) |
| 鈴木 重敏 (S33) | 高橋 恭介 (S34) | 小野 正和 (S34) | 後藤 慎一 (S35) | 山田 義彦 (S35) |
| 森島 毅 (S35) | 浅野 輝夫 (S35) | 内堀 隆裕 (S36) | 岩田 克彦 (S36) | 高橋登志雄 (S36) |
| 今城 力夫 (S36) | 寺島 孝 (S36) | 新井 靖久 (S36) | 西 邦夫 (S36) | 田口 英明 (S36) |
| 河野 功 (S37) | 鈴木 藹 (S37) | 安達 昭三 (S37) | 安達 昭三 (S37) | 今井 幹雄 (S37) |
| 栗原 清二 (S38) | 三村 一俊 (S38) | 高原 直哉 (S39) | 沼野 博文 (S39) | 正田 章 (S39) |
| 川向 秀和 (S39) | 樋口 宗治 (S39) | 小松 元 (S40) | 豊田 芳州 (S40) | 森 和郎 (S41) |
| 荻野 洋二 (S41) | 廻谷 勝三 (S41) | 手塚 辰保 (S41) | 地引 勝 (S41) | 斉藤 光範 (S42) |
| 山田 信之 (S42) | 山田 敏雄 (S42) | 柏原 克昭 (S42) | 野中 通敬 (S42) | 柳川 明夫 (S42) |
| 柏倉 良而 (S43) | 河野 幸司 (S43) | 土屋 宜司 (S43) | 照井 與泰 (S44) | 中島 昭博 (S44) |
| 富山 昌史 (S44) | 斉藤 延夫 (S45) | 阿部 敬一 (S45) | 犬養 俊輔 (S45) | 広瀬 祐三 (S45) |
| 山内 亮一 (S45) | 佐々木 孝 (S46) | 井実 勉 (S46) | 石田 浩男 (S46) | 白鳥真太郎 (S46) |
| 山口 収一 (S47) | 片岡 光昭 (S47) | 金子 茂 (S47) | 寺沢 賢一 (S47) | 手塚 景二 (S47) |
| 小出 敏明 (S47) | 塚越 初雄 (S47) | 北村 孝司 (S47) | 雄倉 保嗣 (S47) | 鈴木 明 (S47) |
| 内田 敏夫 (S48) | 伊東 郁男 (S48) | 佐藤 晴邦 (S48) | 小関 健一 (S48) | 渡辺 康博 (S48) |
| 荒牧 哲 (S49) | 足立 純一 (S50) | 深谷 守 (S50) | 下川原厚男 (S51) | 甲斐 健治 (S51) |
| 黒川 豊治 (S51) | 山高 修一 (S51) | 新宮 領 慧 (S51) | 斉藤 芳彦 (S51) | 村上 隆 (S51) |
| 渡辺 功典 (S51) | 湯本 好英 (S51) | 奥村 信悟 (S52) | 山崎 稔 (S52) | 田林 勲 (S52) |
| 岡田 茂 (S53) | 末光 尚志 (S53) | 新井 智 (S53) | 川島 誠 (S53) | 足立 裕行 (S53) |
| 中村 甚継 (S53) | 鴨井 正文 (S54) | 北島義市郎 (S54) | 久保 敬司 (S54) | 芝木 儀夫 (S54) |
| 仙波 季長 (S55) | 岡松 暁夫 (S55) | 岸 秀伸 (S55) | 中村 彰男 (S55) | 中村 正樹 (S55) |
| 渡辺 幸保 (S55) | 平賀 祐二 (S55) | 平林 俊樹 (S55) | 山根 悟 (S56) | 安斉 孝之 (S56) |
| 大塚 武史 (S56) | 末光 裕治 (S56) | 鈴木 敦 (S56) | 糠沢 隆 (S57) | 浅井 禎和 (S57) |
| 井駒 秀人 (S57) | 佐藤 樹 (S57) | 杉野 剛士 (S57) | 前野 誠一 (S57) | 坂本 敬亮 (S58) |
| 糠沢 公子 (S58) | 平野 幸和 (S58) | 宮田 弘幸 (S59) | 厚見 透 (S59) | 小村 博史 (S59) |
| 綾部 時則 (S60) | 長谷川隆史 (S60) | 山高 卓 (S61) | 川堀 昌樹 (S62) | 丸山美恵子 (S62) |
| 鈴木 康浩 (S62) | 岡本 道夫 (S63) | 岩田 耕平 (S63) | 柿倉 功児 (H1) | 田村 知久 (H1) |
| 大森 雅久 (H1) | 喜多村 淳 (H2) | 中村 幹 (H2) | 峰田 富康 (H3) | 金 東君 (H4) |
| 上村 裕一 (H4) | 石田 知仁 (H5) | 山本 衛 (H7) | 今泉 大作 (H8) | 宮脇 修三 (H8) |
| 金木 真人 (H8) | 酒井 伸和 (H8) | 阿部 正子 (H9) | 青木 功 (H10) | 岸本 靖彦 (H10) |
| 菅原 勝彦 (H11) | 渋谷 岳人 (H13) | 松村 与彦 (H13) | 松本 達也 (H13) | 宇田川 泰 (H19) |
| 森本 康仁 (H21) | 近藤 都 (H22) | 馬淵 佑作 (H24) | 藤井 良平 (H24) | 皆川 将史 (H25) |
| 志村 祥隆 (H25) | 千葉 零治 (H25) | | | |
| 岡山 浩 (特別) | 三輪 卓司 (特別) | 小門 宏 (特別) | 辻内 順平 (特別) | 馬場 直志 (特別) |

※敬称略、()は卒業年または修了年

同窓会からのお知らせ

■ 2014年度(2014年1月1日~12月31日)事業報告

1. 2月5日(水)
第14回技術講演会(池袋サンシャインシティ文化会館)
「水性フレキソ印刷の現状と今後の可能性について」
吉本孝志様(株式会社コシモト印刷社 代表取締役社長:昭和55年卒、57年修了)
「画像工学のための機能性コーティング」
星野勝義様(千葉大学大学院融合科学研究科 教授)
第17回定時総会(池袋サンシャインシティ文化会館)
懇親会(バル・デ・リコ)
2. 3月24日(月)
画像科学科 卒業生を励ます会(けやき会館コルザ、協賛)
3. 6月24日(火)
幹事会(主に見学会検討、錦糸町)
4. 7月12日(土)
関西支部総会・懇親会(京都・キエフ)
5. 9月5日(金)
幹事会(主に学科創立100周年行事検討)
6. 9月25日(木)
同窓生と学生による画像関連工場・研究所見学会
ムラカミ千葉事業所、ホキ美術館/土気(参加者18人)
懇親会:HUBロツテシティホテル(錦糸町、参加16人)
7. 10月8日(水)
幹事会(主に講演会、特別基金検討)
8. 12月下旬
会報17号発行
同窓生の寄付により、引き続き『印刷雑誌』へ同窓会情報発信の掲載を継続

■ 2015年度(2015年1月1日~12月31日)事業計画(案)

1. 2月4日(水)
技術講演会、総会、懇親会
2. 3月23日(月)
画像科学科卒業生を励ます会
3. 3月~4月
情報画像産学技術交流会(協賛)
4. 6月前半
幹事会(主に見学会検討)
5. 7月
関西支部総会・懇親会
6. 9月
同窓生と学生による画像関連工場・研究所見学会、懇親会
7. 10月
幹事会
8. 12月下旬
会報18号発行
同窓生の寄付により、引き続き『印刷雑誌』へ同窓会情報発信の掲載を継続

■ 幹事会報告・・・特別基金について

千葉大学画像工学同窓会の前身である(旧)千葉大学工芸写真会と(旧)芝葉印刷学部会は、1996年9月に画像工学同窓会に統合される際、活動資金としてそれぞれ2,016,778円と3,666,338円が残っていました。これらは、画像工学同窓会の会計とは別に、特別会計として今日までそのままの状態が残ってきました。

この特別会計の扱いにつきまして、10月8日に開催した幹事会において、特別会計を解約・抹消し、通常会計に雑費として入れることを決定いたしました。

このことに関して、2015年2月開催予定の総会に上程することになりました。

年会費納入のお願い。m(. .)m

会報発行などの同窓会の活動運営は、主に会員の皆様からの年会費でまかなわれております。正会員の皆様には、同封の振込用紙にて年会費(1,000円)をご納入下さいますよう、お願い申し上げます。尚、情報画像工学科の卒業生の皆様には、在学時の所属コース、研究室にかかわらず、全員にお送りいたしておりますので、ご了承ください。

○ 画像工学同窓会 総会・懇親会・技術講演会のお知らせ ○

2015年度の定時総会および懇親会を下記のように開催致します。今回も昨年度と同様に多くの方に参加頂けるようPAGE 2015の開催と合わせて開催致します。是非、皆様お誘い合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。また今年度も技術講演会の開催を予定しております。機材展に参加と同時に技術講演会にも参加下さいますよう、ご案内申し上げます。なお、ご参加の有無を同封の振込み用紙にご記入の上ご送付下さい。

日にち:2015年2月4日(水) 場所:サンシャインシティ文化会館 会議室(予定)

<p>■ 画像工学同窓会第15回技術講演会</p> <p>時間:15:00~16:40 参加費:無料 講演者:「電子透かしとセキュリティ」(仮) 今泉祥子助教(千葉大学大学院融合科学研究科) 「写真と印刷の昔と今」(仮) 石川英輔先生(写真・製版・印刷研究家、江戸学者)</p>	<p>■ 第18回定期総会</p> <p>時間:16:45~17:15 議題:2014年度事業報告、会計報告 2015年度事業計画、予算案。 特別会計審議。</p>	<p>■ 懇親会</p> <p>時間:17:30~19:30 参加費:7,000円(予定) 当日お支払い下さい。</p>
---	--	--

※最新の情報は、Webサイトを参照ください。

※ 出席される方は、同封の振込み用紙の出欠欄にご記入の上、1月23日(金)までに到着するようにお申込み下さい。

●サンシャインシティコンベンションセンターTOKYO
〒170-8630 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 交通:池袋駅東口から徒歩8分 東池袋駅(地下鉄有楽町線)2番出口から徒歩3分
<http://www.sunshinecity.co.jp/information/access.html>